

令和2年2月17日

記者発表



国土交通省

北陸地方整備局 長岡国道事務所

本紙の投込みをもって解禁

記者発表資料配布先

- ・長岡市記者会
- ・長岡地域記者会
- ・小千谷新聞
- ・魚沼記者会

国道17号 むいかまち 六日町バイパス・浦佐バイパス うらさ 2021年(令和3年)に開通へ

ながおか 長岡国道事務所が事業を進めている、むいかまち 国道17号六日町バイパス、うらさ 国道17号浦佐バイパスにおいて、橋梁工事やトンネル工事、改良工事が進捗し、部分開通の目処がたったことから、開通予定についてお知らせします。



■国道17号 むいかまち 六日町バイパス

- 開通予定区間：みなみうおぬま 南魚沼市余川地区（延長0.8km）【詳細別紙①】
- 開通予定：2021年（令和3年）夏迄開通予定

■国道17号 うらさ 浦佐バイパス

- 開通予定区間：うおぬま 魚沼市大浦から おおうら 虫野間 むしの（延長1.0km）【詳細別紙②】
- 開通予定：2021年（令和3年）内開通予定

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所

計画課長

やきた 焼田 さとし 聡

[電話] 0258-36-4582

[FAX]

0258-34-3186

ふるさとの ぬくもり伝える 道づくり

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所

〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1

パソコン、スマートフォン
携帯電話

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/i/>

携帯版



スマホ版



【事業概要】

○六日町バイパスは、国道17号の「市街地部の交通混雑緩和と死傷事故の削減」「道路ネットワーク整備による地域活性化」「救急医療体制の支援」などを目的とし、国道17号の新潟県南魚沼市竹俣から南魚沼市庄之又に至る延長5.1kmのバイパス整備事業です。

区 間： (起)新潟県南魚沼市竹俣 (終)新潟県南魚沼市庄之又

延 長： 5.1km (今回開通区間 0.8km)

事業経緯： H 6年度 事業化

H12年度 工事着手

H19年度 南魚沼市余川地先 暫定2車線供用 (延長0.6km)

H21年度 南魚沼市小栗山地先 暫定2車線供用 (延長0.7km)

H27年度 南魚沼市小栗山地先 暫定2車線供用 (延長0.4km)



【整備効果】

- ①「魚沼基幹病院 (三次救急医療)」「南魚沼市民病院」と六日町ICのアクセス性が向上し、安全安心な地域づくりに貢献します。
- ②洪水時に浸水の影響を受けない高盛土構造であり、浸水時の避難路として機能します。
- ③雪を堆雪する十分な路肩が確保されることで、冬期間における円滑な交通確保が期待され、安全性・信頼性が向上します。

国道17号 六日町バイパス(余川地区)開通による主な効果

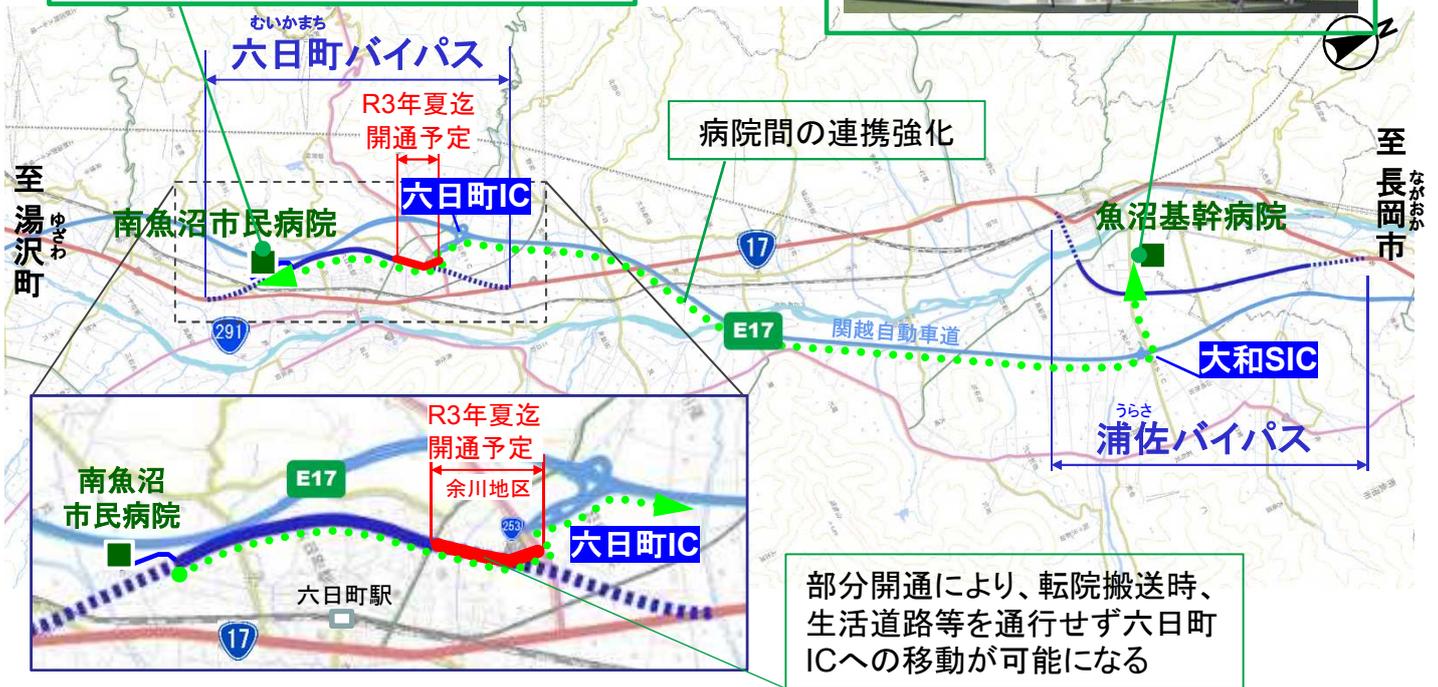
南魚沼地域の救急医療活動を支援

- ▶平成27年6月に三次救急医療を担う「魚沼基幹病院」、平成27年11月に「南魚沼市民病院」が開院。
- ▶余川区間開通で六日町ICへのアクセスが向上し、南魚沼市民病院から魚沼基幹病院への重症患者の転院搬送等が容易になり、安全安心な地域づくりに貢献。

南魚沼市民病院 H27.11開院



魚沼基幹病院 H27.6開院



○H27年度の部分開通後には以下のコメントがあり、開通への効果が期待される

【医療関係者の声】



・魚沼基幹病院や他の病院への、重症患者等の転院数は一カ月あたり4～5件ある。

※南魚沼市民病院へのヒアリング結果
(調査日：R2年2月)

【消防関係者の声】



・南魚沼市民病院から魚沼基幹病院に転院する際に利用している。
・バイパス区間は交差点や道路の凸凹が少なく応急処置がしやすい。
・現在は、現道との接続が悪いため、早急に国道253号まで供用してほしい。

※南魚沼消防本部へのヒアリング結果 (調査日：H28年8月)

【事業概要】

○浦佐バイパスは、国道17号の「幹線道路ネットワークの強化」「浸水・濃霧区間の回避」「冬期除雪障害の解消」などを目的とし、国道17号の新潟県南魚沼市市野江甲～新潟県魚沼市虫野に至る延長6.6kmのバイパス整備事業です。

区 間： (起)新潟県南魚沼市市野江甲 (終)新潟県魚沼市虫野

延 長： 6.6km (今回開通区間 1.0km)

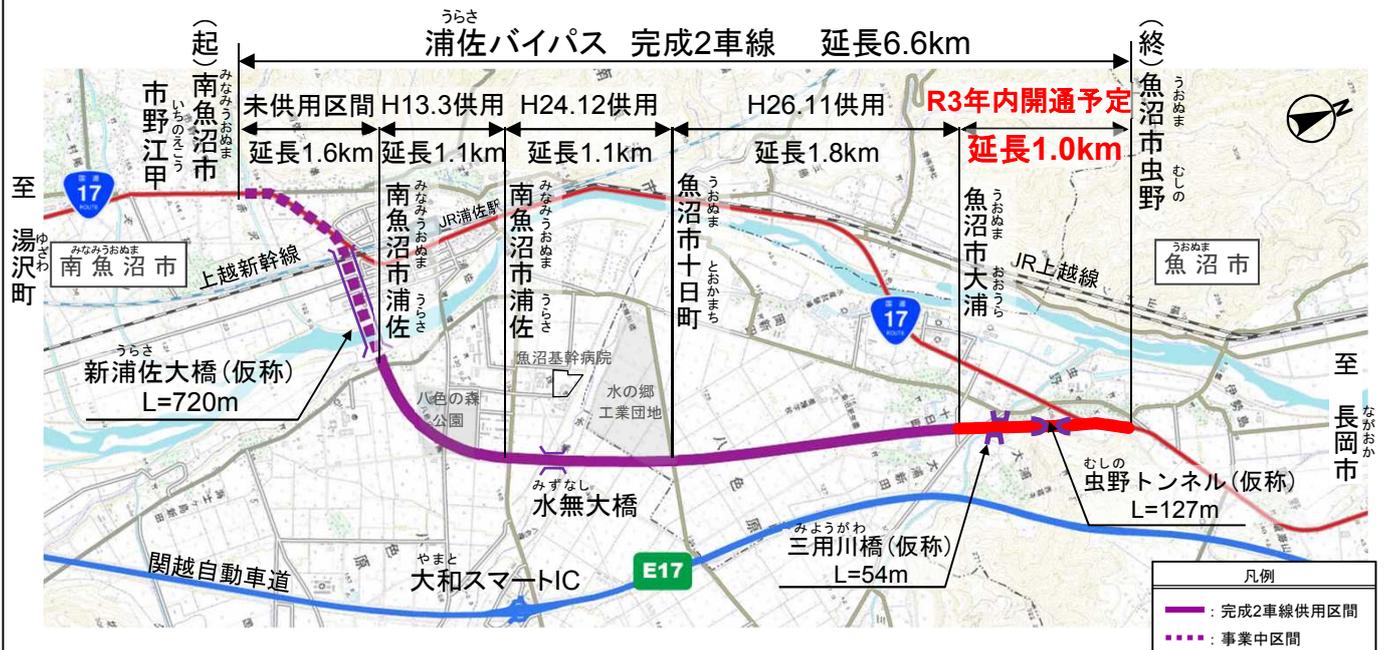
事業経緯： S63年度 事業化

H 9年度 工事着手

H12年度 南魚沼市浦佐地先 供用 (延長1.1km)

H24年度 南魚沼市浦佐地先
～魚沼市十日町地先 供用 (延長1.1km)

H26年度 魚沼市十日町地先 供用 (延長1.8km)



【整備効果】

- ①魚沼基幹病院 (三次救急医療) までのアクセス性が向上し、安全安心な搬送が可能となります。
- ②魚沼市・南魚沼市の産業集積を支援するとともに、進出企業の生産性向上、地域産業の活性化に貢献します。
- ③雪を堆雪する十分な路肩が確保されることで、冬期間における円滑な交通確保が期待され、安全性・信頼性が向上します。

国道17号 浦佐バイパス(大浦から虫野地区)開通による主な効果

【魚沼地域の救急医療活動を支援】

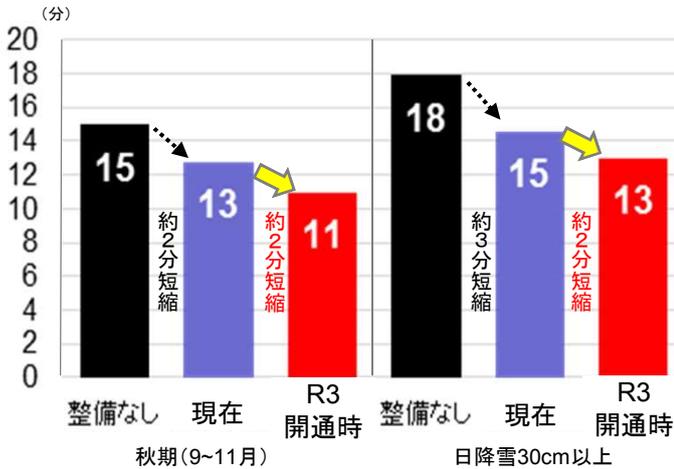
- ▶ 大浦～虫野区間が開通することにより拠点的な医療を担う「魚沼基幹病院」までのアクセスが向上し、安全安心な搬送が可能となる。

【地域の産業集積支援と生産性向上】

- ▶ 浦佐バイパス沿線の「水の郷工業団地」には、近年、食品関係企業が進出している。
- ▶ 大浦～虫野間の整備により、水の郷工業団地へのアクセスが向上し生産性向上、地域産業の活性化に貢献。

【魚沼基幹病院への所要時間短縮】

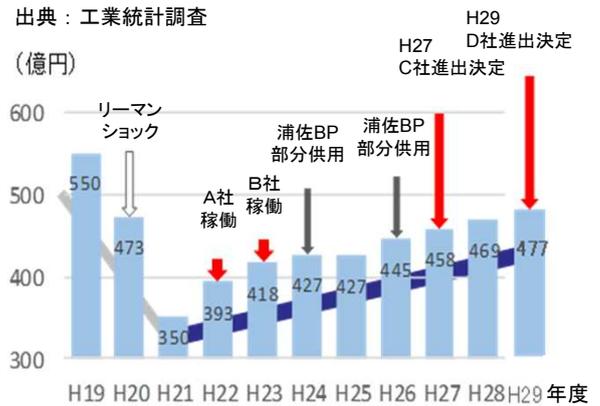
終点側の開通で魚沼市街地から魚沼基幹病院への所用時間が短縮



出典：整備なし、部分供用(プローブデータ(H27年度))
全線供用(H24将来交通量推計値)

【魚沼市の製造品出荷額等の推移】

製造品出荷額は増加傾向であり水の郷工業団地への企業進出が進んでいる



A社：テーブルマーク(株) B社：ホリカフーズ株式会社
C社：株式会社ブルボン D社：魚沼醸造株式会社

【部分開通による魚沼基幹病院や水の郷工業団地へのアクセス向上】

